

2023年9月29日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について  
(昭和産業株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、昭和産業株式会社(代表取締役社長執行役員:塚越 英行、以下「昭和産業」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が策定した「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に則した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」)」を設定し、貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

昭和産業は、2023年9月29日付で「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」(以下「本フレームワーク」)を策定し、同日付で株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ボンド原則(ICMA)、サステナビリティ・リンク・ローン原則(LMA等)、サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン(環境省)およびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン(環境省)への適合性および設定したKPIとSPTの整合性について第三者意見(※2)を取得しています。なお、本件は本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローンの融資契約です。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<昭和産業について>

昭和産業グループは、グループ経営理念「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」を実現するために、多種多量の穀物を扱う「穀物ソリューション・カンパニー」として、食の源である穀物を生み出す大地とその環境を守り、穀物を余すことなく最大限に有効活用していくことが社会的使命であり、責任であると考えています。


また、昭和産業は「全てのステークホルダーに満足を提供する“穀物ソリューション・カンパニーNext Stage”」を長期ビジョンとしており、2023年度から2025年度までの中期経営計画において、「環境負荷の低減」を基本戦略の一つとして掲げています。

今後も、昭和産業グループは“食のインフラ”を支える「穀物ソリューション・カンパニー」として、持続的

な企業価値向上を目指していく方針です。

<KPI および SPT の概要>

本件は、以下の KPI と SPT を設定しています。

KPI	SPT	SDGs
昭和産業グループの CO2 排出量 (Scope 1・2)	昭和産業グループのCO2排出量 (Scope1・2)を 2026 年度までに 2020 年度比 28.1%以上削減	

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) サステナビリティ・リンク・ボンド原則 (ICMA)、サステナビリティ・リンク・ローン原則 (LMA 等)、サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン (環境省) およびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン (環境省) への適合性および設定した KPI と SPT の整合性についての第三者意見  
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上